

# 東富水・富水・桜井地域の 「新しい学校づくり」を考えるワークショップ

第3回

## 「新しい学校の通学環境について考えよう！」

日程：2024年10月29日

時間：19：00～21：00

場所：城北タウンセンターいずみ

### ● 第3回ワークショップ

第3回のグループワークは「新しい学校の通学環境について考えよう！」をテーマに行いました。  
まず、事務局より通学に関する市の補助制度の概要や他市のスクールバス導入例等の紹介があったあと、グループごとに、それぞれのケースに対して、通学距離や通学手段などの問題点や解決策などの意見を出し合いました。ケースごとに異なる点や共通する問題などを参加者で共有しました。

| プログラム       |                                                            |
|-------------|------------------------------------------------------------|
| 1. 開会       | ・主催者＆ファシリテーターあいさつ<br>・前回までの振り返り                            |
| 2. 交通手段について | ・通学手段等に関する基準、市の補助制度や他都市の事例紹介                               |
| 3. グループワーク  | ・学校配置のケースごとに、「通学距離/通学手段/通学路/その他」の観点で、気になることなどについて話し合い、書き込む |
| 4. 発表・意見交換  | ・グループごとに発表<br>・ファシリテーターからのコメント                             |



### ● グループごとの主な意見

- ・中学校は1校になる場合、自転車通学を可能とすれば距離の問題はカバーできるのではないかな。
- ・スクールバスの場合、小中一貫校だと、バスを共有できるのでより良い。また、時間外はバスを地域の高齢者などが使えるものになるとよい。
- ・多様性社会の観点から、自転車やバスなどの通学手段は個々に希望をきいてほしい。
- ・全体的に交通量が多い場所があったり、仙了川沿いに歩道がないところがあるため、歩道整備が必要ではないかな。
- ・小学校通学距離が遠くなるケースは、今の小学校の位置に低学年の分校を作ってはどうか。
- ・報徳小の位置は、地域の中心の位置にあるので、避難所や不登校の子供が通うところなど、学校の機能を少し残した施設として残すとよい。



### ● ファシリテーターのまとめ

- ・歩いて通える範囲はどれくらいかによってスクールバスを導入するかどうか変わってくる。通学手段をどう取り込んでいくか、ケースバイケースではあるが論点になりそうである。
- ・それぞれの場所で配置案を決めていく際には、「道が狭い」「歩道がない」といったハード面の解決も重要な作業になると感じた。

### ● 今後の予定

#### 【4回目】

- 1～3回を踏まえ、学校配置の将来像や今後の検討の方向性等について整理、とりまとめ

#### 【報告会】

- 1～4回でまとめた意見を富水・桜井地域の人たちに報告する

+++++

(問合せ先) 小田原市教育委員会 教育部教育総務課 電話：0465-33-1671 FAX：0465-32-7855